

【 会 議 録 】 (概要)

日時:平成26年 2月18日(火) 19:00~20:00

会議名	平成25年度越谷市自治基本条例推進会議 第8回会議	場所	越谷市役所別館1階 第1・2会議室
件名 議題	1 開会 2 答申 3 市長あいさつ 4 懇談 5 その他 6 閉会		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無		
出席者	出席委員 佐々木会長、石崎副会長、大熊委員、金子委員、鋪野委員、関根委員、内藤委員、福嶋委員、村田委員、原田委員、松原委員、得上委員、雨宮委員、菅沼委員(14名) 欠席委員 林委員(1名) 高橋市長 事務局 立澤企画部長、利根川企画部副部長(兼)財政課長、佐々木企画部副参事(兼)企画課長、早山企画課副主幹、西岡同副主査、根本同主事(6名) 傍聴者 6名		
内 容	別紙 会議録(要旨)のとおり		
●合意・決定事項等 ・『自治基本条例の適切な運用に関する事項について(答申)』を市長に提出した。 ・推進会議でのこれまでの取り組みを踏まえ、市長と各委員が懇談を行った。			

会議録（要旨）

1 開会あいさつ（会長）

皆さん、こんばんは。寒い中、またお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

本日は、「自治基本条例の適切な運用に関する事項について」、諮問に対する答申を市長に提出します。また、答申後、市長と委員の皆さんで懇談する時間が設けられています。

一昨年4月に諮問を受けてから2年間、熱心なご協議ありがとうございました。ワークショップや行政各担当課からのヒアリング等を積み重ねて、本日の答申に至りました。積極的なご意見を出していただき、会長、副会長ともども大変ありがたく思っております。改めてお礼を申し上げます。

2 答申

- ・会長が、『自治基本条例の適切な運用に関する事項について（答申）』を市長に提出した。

（会長）今回の答申は、第1期の「自治基本条例の普及に関する事項について（答申）」に引き続くものであり、自治基本条例の実効性を確保する上では、不可欠な課題だと認識しております。市民力を生かした市民自治のまちづくりを推進していくためには、自治基本条例制定後のフォローアップが何よりも大切です。自治基本条例の市民への理解、浸透はまだまだの感があります。今回の答申に盛り込まれた内容を着実に実行し、自治基本条例の定着を図っていくことが求められます。自治基本条例を制定したことによって、市政においてどこがどう変わり、どう前進したのかを市民にしっかりと理解してもらい、市民一人ひとりが市政を自分たちにとってより身近な存在として改めて感じ、市政に対してこれまで以上の関心を持ってもらえればと思っています。我がまち越谷として誇れるより良い越谷市の実現に向けて、行政、議会、市民がお互いに協働しながら、それぞれの役割を果たしているかを検証し、認識する必要があります。推進会議は、自治基本条例についての進言隊として、根付かせていくための仕掛け隊として、そして育てる見守り隊としての役割を果たしていくことが大切だと思います。

3 市長あいさつ

本日は、「自治基本条例の適切な運用に関する事項について」の答申をいただきまして、ありがとうございました。

答申をまとめるにあたりましては、ワークショップの手法を取り入れるなど、様々な工夫をしていただいたと伺っております。佐々木会長様、石崎副会長様はじめ委員の皆様、重ねて厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は、9月には竜巻、10月には台風26号により市内各地域で大きな被害を受けました。住民の皆様にとって大きな試練となりましたが、ご近所同士の助けあい、さらにはボランティアの皆様が支援していただくなど、新しい公共を担う市民の皆様の方の大切さを痛感いたしました。

また、人口減少社会の到来、少子高齢化の進行及び地方分権の進展など、地方行政を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、地方自治体は、それぞれの地域特性に応じたまちづくりが求められております。

私は、2期目の市政運営にあたりまして、「安心度埼玉No.1の越谷」と「市民が誇れる越谷」をまちづくりの基本理念といたしまして、本市の将来像として掲げる「水と緑と太陽に恵まれた人と地域が支える安全・安心・快適都市」を実現するため、「市民とつくる住みよい自治のまちづくり」など、今後も市民参加と協働によるまちづくりを進めていく所存でございます。

本日の答申内容を踏まえまして、自治基本条例の適切な運用に全力で取り組んでまいりますので、引き続き、委員の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、委員の皆様のご健康とご活躍を心からご祈念申し上げ、あいさつとさせていただきます。

4 懇談

- (会 長) 自治基本条例に関する事項を中心に、その他のことでも何かご意見等ありましたら発言していただければと思います。いかがでしょうか。
- (A委員) 高橋市長になってから、ふれあいミーティング等が開催されており、とても良いことだと思っています。自治基本条例ができて、変わったと思う点はありますか。
- (市 長) 私は以前から、市民のための行政を進めるという考えのもと市政に携わってきました。昔はいろいろな施策を行政が率先して行う時代でした。しかし現在は、限られた財政の中で、市民の皆さんの意見を聞きながら、緊急性と必要性をしっかりと受け止めて施策を実行していくということが必要であると認識しています。ふれあいミーティング等でいろいろなご意見を聞き、広報広聴課でその内容を集約し、皆さんにお知らせしています。また、担当部署では、ふれあいミーティング等で出されたご意見をきちんと受け止め、実行に移してきていると確信しています。すべてが実行に移せるものばかりではありませんが、その中で本当に緊急性と必要性のあるものについては、すぐに対応するよう進めています。まだまだ十分でないということは理解していますが、これからも市民の皆さんのご意見を聞きながら対応してまいります。
- (会 長) 越谷市は先日の竜巻の対応も早かったと思います。市民と市が協働した良い事例だと感じています。
- (市 長) 竜巻対策はマニュアルがなく、手探りのものでした。市が配布したブルーシートが、地域の皆さんの協力で被害にあった建物にいち早く掛けられました。地域の助け合いの姿が現れた事例で、非常に嬉しく思いました。
- (B委員) 地域清掃の消耗品の支給や道路等の補修等、市に申し出ると対応してもらえます。行政と市民が協力していくことがまちづくりの基本であり、自治基本条例が生かされているということだと考えています。越谷市は根本的にはとても住みやすいまちであると感じています。自治基本条例を浸透させるという観点からも、この答申は有効であると思います。
- (C委員) 自治基本条例について、推進会議等を設置し、自治基本条例を普及する方法や行政が適切に運用しているかということを確認している自治体は稀です。そういったことができるのは、自治基本条例をつくるときに市民、行政が力を入れてつくったからだと思います。これからの自治体は、財政状況等により今までどおりに事業を展開していくことができなくなると考えています。住んでいる人々自身で地域の課題解決方法を考えることが必要になってくると思います。そういったことも踏まえながら、推進会議を発展させていければ良いと思います。
- (市 長) 越谷では、各地区にコミュニティ推進協議会というものがあります。この組織が更に機能するようにしていくことが一番大切であると思います。私たちのまちは私たちでつくるのだという意識を持ち、地域ごとに活動していただければ、自治基本条例が体现されていくと考えています。13地区でそれぞれ特徴ある取り組みをしていただければ、まちづくりに参画する意識が高まっていくと期待しています。
- (会 長) 自治会やコミュニティ推進協議会、NPO等が協力して相乗効果を発揮できるようになれば良いと思います。
- (D委員) 2期目の推進会議では、各担当課から具体的な取り組みの状況を聞き、委員からいろいろな意見を出させていただきました。良い取り組みができたと考えています。推進会議の委員の意見を受け、各担当課での取り組みに反映させたこと等があれば教えてください。
- (事務局) 会議後すぐという取り組みはありませんが、推進会議の皆さんの意見を受け、複雑な行政

の情報を工夫してわかりやすく伝えることの必要性を各担当課が改めて認識したものと考えています。

- (E委員) すぐにということは難しいことだと思います。市民の意見を聞きながら、様々な取り組みへフィードバックしていただければと思います。
- (市長) 推進会議は、自治基本条例の趣旨に沿って行政が事業を行っているかということを検証する機関であっていただきたいと考えています。足りない部分についてはどうぞご指摘ください。また、市民の皆さんのパブリックコメントへの関心が高まっていくことを期待しています。
- (F委員) パブリックコメントについては、募集の際に関連団体に意見照会をしていただく等の取り組みが有効であると思います。
- (G委員) パブリックコメントの募集の際、わかりやすい資料を提示することが必要だと思います。
- (H委員) 越谷市の自治基本条例は良くできています。これから自治基本条例がうまく運用されてほしいと願っています。時代の変化にともない、新しい事象がたくさん起きてくると思います。前例がない取り組みにも対応していける体制にしていっていただければと思います。
- (市長) 前例がない取り組みであっても、まずは聞くということができる組織にしていきたいと考えています。
- (I委員) 自治基本条例ができることから関心を持っており、今期の推進会議委員になりました。自治基本条例を普及したいといろいろな活動をしていますが、まだまだ関心が高まっていないと感じます。推進会議は来期以降も継続していくと伺っています。任期終了後もいろいろな働きかけを続け、越谷市の自治基本条例を、本当に意義のあるものとしていかなければと考えています。
- (会長) 推進会議を設け自治基本条例を推進する取り組みを行っていることは大変素晴らしい取り組みだと思います。どのように今後のフォローアップをしていくかということが大切です。市民の間で、自治基本条例を推進するための組織をつくろうという動きもあるようです。また、一委員としての発言となりますが、市民活動支援センターは、自治のまちづくりを推進していくための相談コーナーを設ける等、いろいろな事業を行っており、自治基本条例を定着させるための大きなパワーとなっていると思います。
- (J委員) 竜巻についてですが、竜巻を発見した際に通報するシステムをつくり、防災行政無線で放送するといった取り組みはいかがでしょうか。
- (市長) 総務省で竜巻の対策をするための集まりがありましたが、現在、竜巻が発生する予報の精度はまだまだ低いものと伺っています。竜巻についての予報、また、進路の予測も難しいのが現状です。防災行政無線の局地的な放送も現在は難しいものとなっています。また、気象情報については越谷市独自の判断で流すことができません。ご提案の方法は、現在の状況ではなかなか難しいと考えています。
- (会長) 竜巻の際は、行政だけではなく地域の組織等と行政が一緒になって対応したということが評価できると思います。時間の都合もありますので、以上で懇談を終了とさせていただきます。ありがとうございました。
- (市長) ありがとうございました。懇談中に発言のあったとおり、前例のない取り組みにも対応していく努力が必要であると思います。そういった際に積極的にご発言いただき、議論をしていただければ、次の取り組み方が見出せると考えています。今後ともよろしくお願ひします。

【市長退席】

5 その他

- ・事務局が、「自治基本条例の適切な運用について（答申）」の公表方法等について説明した。

6 閉会（副会長）

長時間にわたりました、ありがとうございました。2年間、第2期の推進会議委員として皆さんと協議を重ねてきました。第1期の「自治基本条例の普及について」というテーマも、捉えどころの難しい問題でありました。第2期の「自治基本条例の適切な運用について」というテーマでも、奥行きが深い、幅の広いご意見をいただきました。この自治基本条例が今後いろいろな形で越谷市の地方自治の中でうまく運用をされていくよう、今後も関心を持ち続けていただきたいと思います。2年の間、どうもありがとうございました。